

令和4年度 事業計画

社会福祉法人 公生会
特別養護老人ホームとまとの里

■理念

親愛 多様な価値観をお持ちの入居者の皆様に対して、プライバシーの配慮はもとより、人としての尊厳と信頼を大切に、自分たちの父親・母親に対する愛情をもって支援いたします。

実践 入居者の皆様の生活リズムを大切に、食事・入浴・排泄・睡眠などゆっくりした気分で楽しんでいただけるよう、ハートフルなサービスを提供いたします。

謙虚 入居者の皆様、地域の皆様から学ぶことを忘れることなく常に自己研磨に努め、“それは入居者様にとって、ご家族様にとって喜ばれることか”を物事の判断基準とし、“入居者の皆様のお陰で私たちの生活も成り立っている”という感謝の気持ちを持って介護サービスに努めます。

■運営基本方針

◇地域交流と地域での役割の確立

- ①地域や地元からのボランティア等の受け入れ態勢の確立、又地域交流室開放の広報を行い、地域交流の場をつくる。→ホームページ・ブログ・広報誌の充実
- ②大分市福祉避難所の協定を継続し、災害時等に必要な支援ができるよう設備を整える。→大分 DWAT 登録、研修参加により他機関との繋がりを作る。自家発電機導入
- ③地域と共同で避難訓練や消防訓練を行い、地域からの協力体制を確立する。→部門長会議又は感染対策委員会を中心とした BCP(業務継続計画)の作成。

◇ユニットケアの確立とサービスの向上

- ①ユニットケアに取り組むべく、入所者ごとの生活パターンの把握とケアの見直しを繰り返し行う。→24 時間シートの統一が完了。担当者会議を目安に定期的な更新を行う。
- ②ユニットケア推進委員会を中心とし、サービスの基本である接遇マナー(挨拶・笑顔・丁寧な言葉使い等)の向上を図る。→委員会内で介護技術評価基準を作成、公平に評価を行うシステム作り。
- ③ユニットリーダー研修、その他技術向上やケアの適切化などの研修に職員を派遣し、職員全体のスキルアップを図る。→ユニットリーダーの育成(研修派遣)、各委員会の役割の明確化を行うことで適正な運営に繋げる。
- ④具体的なサービス内容を見直し、新たな加算の算定に繋げる→上位加算や新たな加算の算定を積極的に検討し、介護報酬の安定と職員賃金等の見直しにつなげる。

◇看取り介護・医療的ケアの推進

- ①配置医師との連携強化により入居者様・ご家族様が望まれるケアを提供できるように努める。→新嘱託医との連携を深め、ご家族と嘱託医とをきちんと繋げていく。
- ②看取り介護マニュアルを周知し、職員が不安なく看取り介護に取り組める体制づくりに努める。→ターミナルケア委員会を中心とした個別のターミナル期の対応・評価

◇苦情解決や環境改善に取り組み、入居者様から信頼される施設をつくる。

- ①「苦情受付担当窓口」を設け、入居者様・ご家族様からの苦情に速やかに対処し、解決を図る。→苦情受付様式の変更により苦情申出者に回答まで完結させるシステム作り
- ②「身体拘束廃止マニュアル」に基づき入居者様本人または他入居者様の生命または身体を保護するため、緊急やむをえない場合を除き、身体拘束その他入居者の行動を制限する行為を行わないことを職員に徹底する。→身体拘束廃止委員会にて個別の検討、決定、同意書の作成を行う。
- ③ヒヤリハット、事故報告書の分析結果に基づいて立てられた予防策について定期的に検証し直し再発防止に努める。→安全管理委員会を中心とし、ケースごとの検討
- ④福祉サービス相談委員会を開催し、施設内で解決にいたらなかった問題に対して、第三者の協力を仰ぎ解決に取り組む流れを確立させる。→委員会の流れを確立する